

旋復花

スルノ効相似ルヲ以テ、古來劉寄奴ニ充ツルハ大ナル誤ナリ、ヲトギリ草ハ小連翹ナリ、
増劉寄奴草、蘭山翁ノ説此ノ如シト雖ドモ、眞物ハ和産アルコトナシ、
〔草木育種後編下品〕劉寄奴草 俗に秋のきりんさうといふ、和蘭にてキユルデン、ルーデといふ、
葉を愈創の藥に用る、花を插花に用ふ、江戸近野にも生ず、山土の地にうねを作り植べし糞水を
澆ぎてよし、

〔武江産物志 藥草〕道灌山ノ産 劉寄奴草

〔新撰字鏡 草〕旋復花 須万比久佐、本云早人草、

〔本草和名 草〕旋復華仁謂音上一名金沸草、一名盛樾、一名戴甚、和名加末都保、一名加末保。

〔和爾雅 草〕旋覆花並同、覆字亦作覆

〔和漢三才圖會 九十四本〕旋覆花 金沸草 夏菊 金錢花 盜庚 滴滴金 載樾 俗云乎久留

末○中

按旋覆花葉似柳花似菊而黃色、大如錢、人家栽者花大、數花攢開、又有千葉者、以野生單瓣者可藥入
用也、攝州之産最佳、江州者次之、

〔重修本草綱目啓蒙 十草〕旋覆花 フグルマ ノグルマ キツ子ノタバコ 越後 一名盛樾本經類

草 滴漏花花史左編 滴漏金 金錢子同上 謝落金同春 滴露金同上 野油花附方 飛天藥

輟耕 野金錢藥性要略大全 六月菊類纂要書 艾菊詳芳譜 滴露菊 艾菊 疊羅黃同上 滴露大倉志

原野園圃間甚多シ、最繁殖ス、一タビ種レバ、其年花ヲ生ゼザレドモ、翌年ハ甚多ク生ズ、故ニ滴滴
金ノ名アリ、此葉ノ露水滴下スル處ニ、苗ヲ生ズト云ノ意ナリ、然レドモサニハアラズ、鬚根蔓ノ
如ク延テ、ソノ末ニ皆苗ヲ生ズル、故繁茂スルナリ、葉ハ細長クシテ、鱧腸葉ニ似テ、微毛アリ、苗高
サ二三尺葉互生ス、夏月莖梢ニ枝ヲ分テ花ヲ開ク、單瓣ニシテ大サ錢ノ如シ、黃心形菊花ニ似テ